

◎ ひろがれ「弁当の日」!

枕崎中学校(枕崎市)

「弁当の日」は、生徒が自分で作った弁当を持参する日を設け、弁当作りをとおして家族との絆を深め、食材となる命への感謝の心や困難を乗り越える心を育むとともに、食への関心を培う取組です。平成13年に香川県の小学校の先生が、子どもが育つ環境に、親子が時間を共有し絆を深め、人としてのつながり方を学ぶ「くらしの時間」を取り戻すために始めました。

枕崎中では平成24年度から実施しています。食文化の豊かな枕崎だからこそ、食への関心を高め、生活に密接に結びついていることを再認識することが、郷土教育の点からも大事なことだと考えています。

生徒からは、「親の大変さが理解できた。」「作る楽しさと、大変さがよくわかった。」「自分がやっていることを、親が喜んでくれてうれしかった。」など、保護者からは、「子どもが手伝ってくれるようになった。」「子どもがここまでできるとは思わなかった。見直した。」などの感想が寄せられ、「弁当の日」は、多くの気づきや学びを与えています。



「弁当の日」教室の様子



いただきます!



色とりどりの自作弁当

今年度は4回実施し、最終的には準備から片づけまで全部自分でこなせる「完璧弁当」を目指します。

また、この取組が他校にも広がることで、多くの人に「弁当の日」の素晴らしさ、子育ての素晴らしさに気付いてほしいと願っています。

枕崎中弁当の日ブログ <http://makurazakijh.amamin.jp/>



◎ 老若男女誰もがつながり、一人一人に出番がある居場所づくり

東馬渡自治会、西馬渡自治会、NPO法人福祉相談センターにじ(南九州市颯娃町)

主に仕事中心で生活し定年を迎えた男性の方に、スムーズに地域との関わりを築いてもらうため、中高年男性が気軽に立ち寄れ、誰もが人とつながりながら暮らせるような居場所づくりを目指して、平成23年に自治会がNPO法人と協働で「だんだん小屋」を建設しました。

課題を共有化するための定例会の開催、活動を知らせるための「だんだん通信」の発行、住民同士の交流のため、刃物とぎ支援、炭焼き体験、休耕地を活用した芋やそばの栽培の実施など、住民の特技を活かした地域貢献活動も行い、みんなが活躍できる出番づくりのための取組を行っています。

これらの活動により、住民同士の交流が活発になり、男性だけでなく女性や幅広い年齢層に交流がひろがりつつあります。また、共同作業や交流活動を通して、地域の中高年男性が顔の見える関係を築くことができ、地域の課題について話し合う機会が増えました。

今後は、男性に限らず、誰もが集える居場所「暖談小屋」への発展と、自治会の中で皆がお互いのことを気にかけていながら生活する場づくりに努めていきたいと考えています。



月1回の刃物とぎ支援



子ども会・育成会と一緒にバス旅行



大晦日の年越しそばづくり

南薩地域振興局では、地域の概ね10年後の「将来の姿」やそうなるため 今回は、このビジョンの「挑戦7 未来を拓く人づくり」の分野で活

◎ 三世代が協力した「社会体験・自然体験・伝承活動」

たかた三世代塾(南九州市川辺町)

たかた三世代塾は、平成13年に設立されました。

三世代塾とは、子どもと親と祖父母の三世代が協力して、豊かな社会体験や自然体験、伝統文化体験等を行うことです。

高田校区子ども会、村づくり委員会、公民館、老友会、高田太鼓踊り保存会、消防団高田地区分団等の方々も協力して、たかた太鼓踊り、農業体験、田んぼでのどろんこ遊びや川の生き物観察、門松作り、鬼火焚き等の活動を行っています。

活動に当たってユニークな点は、それぞれの活動ごとに、たとえば鬼火焚きの担当運営は消防団が行うなど、校区内の団体が得意分野を活かして企画運営を担当している点です。

地域と学校、家庭が一体となった体験活動が、「地域の子どもの地域で育てる」という温かい気風につながっています。



昔の農機具体験(縄縄え)



たかた太鼓踊り



川の生き物観察の様子

◎ 「豊かな地域づくり」と「ひとづくり」のための公民館活動

魚見校区公民館(指宿市)

魚見校区は指宿市の東部に位置し、現在でも昔ながらのお互いを思いやる人情が残っているところです。

魚見校区公民館は、この地域の生涯学習の拠点として、自主講座を開講するなど校区民の学びの場となっているほか、子どもたちを対象とした活動も幅広く展開しています。子ども向けの公民館講座として、「魚見わくわく学習塾」では、大正琴教室、卓球教室、スポレック教室、映画&スポーツ教室、腹話術教室、日本舞踊教室を第2・第4土曜日に開催しています。また、第1・第3・第5土曜日は、子どもが自由に利用できるように開放しており、市立図書館などから古い本をもらったり、トレーニング器具を設置するなど、少しずつ設備の充実を図りながら、多くの子どもたちに利用されています。



大正琴の演奏

また、第2・第4水曜日には、魚見はつらつカラオケ講座を開催し、校区民が仕事の合間に交流し、大きな声を出すことにより、ストレスの解消と住民の親睦につながっています。

これまで、少しずつ体制を整え、現在のように校区民に利用され、子どもたちにも大変親しまれる公民館になってきました。

今後も各地区公民館や学校と連携し、「豊かな地域づくり」と「ひとづくり」の役割を果たしていきたいと考えています。



公民館でみんなで宿題



魚見はつらつカラオケ講座